

長期研修員研究発表の概要

長期研修員による研究発表を 12:35～13:40（発表A:12:35～13:05, 発表B:13:10～13:40）に行います。今日的な教育課題の解決に向けて1年間研究してきた成果を発表いたしますので、ぜひご参加ください。なお、以下の研究の概要をご覧いただき、別紙の参加申込書に、参加を希望される発表の番号をA, Bから一つずつ選んでご記入ください。

発表A①～⑦ 7名 (12:35～13:05)

A-①	<p>【小・国語】 高橋 直美（三豊市立上高瀬小学校）</p> <p>物語を楽しんで読み、自ら読書しようとする児童の育成を目指して</p> <p style="text-align: center;">－読書活動の充実につながる物語教材の授業実践を通して－</p>
<p>物語教材の指導における言語活動の充実を通して、本を読む楽しさを感じ、自ら本を手にとることのできる主体的な児童の育成を目指した。児童が読書を楽しんだり、読書の価値を実感したりするために必要な力を「読書力」とし、その力の分析や指導過程の考察を行った。それを基に、年間指導計画や「読書力」の育成を図る課題解決的な単元プランを提案する。</p>	
A-②	<p>【小・算数】 前田 昌子（坂州市立川津小学校）</p> <p>算数科における自力解決を促す少人数指導の工夫</p>
<p>6年生の算数科少人数指導において、児童の自力解決を促し、「算数ができるようになりたい」という思いを支える学習指導の工夫について研究した。小・中学校の指導内容の系統性を重視した教材研究から、単元に関連する既習内容の定着度やつまづきを見取るプレテストを作成し指導計画に生かした。さらに、視覚的に理解を促す学習環境や教具等の支援について提案する。</p>	
A-③	<p>【中・国語】 松岡 佐和子（東かがわ市立引田中学校）</p> <p>文学教材を用いた「読むこと」の授業改善</p> <p style="text-align: center;">－学習課題ごとのワークシートの工夫を通して－</p>
<p>教科書に収録された文学教材について、学習課題ごとに身に付ける力を明確にしたワークシートづくりを目指した。そのために、教科書に示されている学習の手引きを指導事項に対応させて分類し、課題に取り組むための学習内容及び学習活動を設定して、それらを効果的に組み合わせるワークシートを類型化した。これに基づき3学年分のワークシート集を提案する。</p>	
A-④	<p>【小・理科】 十河 淳（三木町立氷上小学校）</p> <p>小学校理科における「粒子概念」を活用した学習指導の工夫</p> <p style="text-align: center;">－見えない変化を粒子イメージでとらえ、思考・表現する力の育成－</p>
<p>「粒子概念」は科学的な見方・考え方の基本となる重要な概念の一つであるが、中学生でもつまづきやすい。小学校理科において、「粒子概念」の系統性を重視し、物質の性質や見えない変化を粒子イメージでとらえ、思考・表現する力を段階的に育成する指導方法を、「動物の体」と「水溶液」での実践を例に提案する。また、小学校理科における「粒子概念」の系統的な指導計画モデルも提案する。</p>	
A-⑤	<p>【中・英語】 真鍋 研二（多度津町立多度津中学校）</p> <p>英語学習の意欲を向上させる指導の在り方</p> <p style="text-align: center;">－音読指導の工夫を通して－</p>
<p>音読活動に重点を置いた英語学習が、生徒の学習意欲をどれだけ高めるのかという研究に取り組んだ。生徒の音読に対する意識や効果的な音読指導の方法など、調査分析したことを授業実践に取り入れ、生徒の英語学習に対する意欲の変化を考察した。英語に自信を失っている生徒や、既習の学習内容の定着が十分でない生徒も、音読活動を通して意欲的に取り組める授業づくりを提案する。</p>	
A-⑥	<p>【小・情報教育】 西村 博文（まんのう町立高篠小学校）</p> <p>教員のICT活用指導力の向上を目指して</p> <p style="text-align: center;">－タブレット端末を活用するための研修の充実－</p>
<p>学校には、児童の情報活用能力の育成等を目指した情報教育の充実が期待され、思考を可視化し表現するためタブレット端末の導入が進められている。一方、ICT活用指導力に不安を抱えている教員も見られる。そこで、教員がタブレット端末（iPad）を活用することを目指し、操作方法、事例研究、活用法の3段階の研修を通して、教育活動に活用するための方策を提案する。</p>	
A-⑦	<p>【小・教育相談】 泉川 容子（高松市立木太小学校）</p> <p>望ましい人間関係づくりを育成するための教育相談の在り方</p> <p style="text-align: center;">－意図的・継続的な実践を目指して－</p>
<p>いじめや不登校等の問題行動の要因の一つとして、子どもの人間関係の希薄化が考えられる。問題行動を未然に防ぐためには、計画的に学級集団の人間関係づくりを行っていくことが大切である。そのため、目的に応じた予防的・開発的教育相談の手法の一つである構成的グループエンカウンター的活動事例集を作成し、教員が意図的・継続的に実践できるための方策を提案する。</p>	

発表B①～⑥ 6名 (13:10～13:40)

<p>B-①</p>	<p>【小・国語】 守谷 光代 (観音寺市立一ノ谷小学校) 子どもたちが進んで書こうとする作文の指導 - 「楽しく」、「いつでも・どんどん」書けるという自信をもって取り組む子ども-</p>
<p>「相手意識・目的意識をもって楽しく書ける」「文章様式に合わせた構成や記述、表現が分かり、いつでもどんどん書ける」子どもを育てるための研究を行った。付きたい力の一覧表の作成、年間カリキュラムの工夫、文章様式や言語活動を反映したモデル文(「書くこと」全学年全42単元)の作成と、その活用を提案する。</p>	
<p>B-②</p>	<p>【小・算数】 岩崎 里美 (丸亀市立飯山北小学校) 低学年の数学的な思考力・表現力を育む算数的活動 - 操作と言葉・数・式・図をつなぐ言語活動を通して-</p>
<p>低学年の数学的な思考力・表現力を育む算数的活動の在り方を探った。1年生の「たしざん」「ひきざん」において、課題把握の場面や半具体物の操作で、子どものよさを引き出すかかわり方を工夫した。自分の言葉で考えを表現したり、簡潔な表現に高めたりする学び合いの支援や、考え方が分かる学習シートを活用した言語活動の充実を提案する。</p>	
<p>B-③</p>	<p>【中・数学】 安岐 明美 (三豊市立高瀬中学校) 文字式における誤答傾向を踏まえた授業改善</p>
<p>学校では、これまでの全国学力・学習状況調査の結果を活用し、生徒の実態に応じた授業改善の具体化に取り組む必要がある。本研究では、文字式の内容について、置籍校の事前調査や全国学力・学習状況調査等の結果から、誤答の傾向を把握し、課題を考察した。それらの課題の解決に向けた授業改善のポイントを、具体的な指導事例とともに提案する。</p>	
<p>B-④</p>	<p>【中・理科】 矢野 知子 (三豊市立豊中中学校) 一人一人の課題解決学習を充実させる指導の工夫 - 観察・実験から考察への過程を重視して-</p>
<p>全国学力・学習状況調査によると、香川県の生徒は観察・実験は関心が高く、授業でも多く取り入れられているが、考察が十分行われていない実態がうかがわれる。そこで、「プラスチックを区別する」「凸レンズのはたらき」の実践を踏まえて、一人一人の考察を充実させるための教材やワークシート等の手立てを提案する。</p>	
<p>B-⑤</p>	<p>【小・外国語活動】 香川 志津子 (善通寺市立中央小学校) 積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童を育てる外国語活動の在り方 - HRT (学級担任) が中心となって取り組む授業づくりを通して-</p>
<p>本格実施3年目の小学校外国語活動においては、教師の英語力や授業づくりに不安を感じている現場の声が聞かれる。児童の実態をよく知るHRTが中心となり、コミュニケーションへの意欲を高めることを目指した授業実践を行い、その効果を検証した。小学校外国語活動における指導のねらいやHRTの役割等の課題を明らかにし、HRTが中心となって取り組む授業づくりの有効性を提案する。</p>	
<p>B-⑥</p>	<p>【中・情報教育】 池田 昌隆 (高松市立龍雲中学校) 指導者用デジタル教科書を活用したわかる授業の実現を目指して - 中学校社会科の授業を通して効果的活用法をさぐる-</p>
<p>授業におけるICT活用が進む中、今後県下にもデジタル教科書の普及が進むと考えられる。そこで、デジタル教科書の具体的機能や使い方を整理し、授業実践を通して明らかになった利点と課題をまとめた。その成果をもとに作成したデジタル教科書の活用事例集を紹介し、ペンツールを使っでの書き込み機能で生徒同士の意見交流を図るなど、その効果的な活用方法を提案する。</p>	